

## 設置の背景・概要 等

## 背景

世界に先駆けて高齢社会となった日本では、高齢者、超高齢者の生き方のモデルが求められている。日本人の平均寿命は長いが、健康寿命との差は9～12年もあり、健康寿命の延伸と、疾病を有していても幸福に生きることが可能な社会の実現が求められる。高齢者の身体・精神神経的障害の克服と健康維持増進には、医療・看護面とスポーツ体育的な取組が必要であり、社会的健康度を向上させるには家族や共同体や国内外社会に対する「Gerontology」の科学的なアプローチが必要となっている。

東急不動産では、シニアライフをサポートする住宅の実現やリゾート施設、ゴルフ場、スポーツ・フィットネス等のクラブ運営により、ハード・ソフト両面より高齢社会を支えるノウハウを蓄積している。特に上記施設の会員には富裕層に属する人が多い。東急不動産のもつリソースと順天堂が有する医療とスポーツ健康科学のリソースが連携することにより大きな付加価値を生むことが期待される。

## 目的（設立の意図）

超高齢社会において、健康寿命の延伸と疾病を有する人が幸福に生きる社会の実現に向け、順天堂大学では、ジェロントロジー（Gerontology）の立場から、学部横断的に、医学部に所属する内科医（消化器、循環器、総合診療科、神経内科、腎臓内科）と整形外科医、およびスポーツ健康科学部に所属するスポーツ・健康科学研究者、さらに、医療看護学部・保健看護学部所属する看護学研究者らが、生活者の住インフラに関わるデベロッパー企業東急不動産（株）に従事する研究者・社員とともに、豊かな超高齢社会を築く仕組みづくりと、健康長寿に資する衣食住や運動・健康保全に適した器具・道具類の共同開発研究を行うのを目的として、共同研究講座（寄付講座）を開設した。

本講座では、上述した開設目標を実現するため、各専門分野に所属する医師・研究者・院生に対し、高齢者の住環境のハード・ソフト面からの安心・安全で、動き、話し、食べ、楽しみ、ヒトに尽くす、明るいシニアライフを過ごすための取り組みを、東急不動産が有するリソースと本学の医療・看護学・健康・スポーツ科学のリソースを融合させ、老年健康科学を専門とする人材養成を行いたい。さらにシニアライフの調査・研究を行うことより世界の先進国の高齢者の幸福寿命社会モデル構築を目指す。

東急不動産の有する人的リソースに対して、安心・安全な医療体制を順天堂が提供することにより、健康的に豊かなシニアライフのサポート体制をモデル構築化するとともに、日本人の健康寿命の延伸、幸福寿命社会の実現に向かつて、東急不動産のリソースに対してジェロントロジーの学問的なアプローチに基づき、楽しく、動き、語らい、食べることができる住空間システムをハード・ソフト面から開発し、モデルの構築を目指す。

## その他（特筆すべき事項等）

本講座における研究は、現在進行中のCOI拠点事業と連携しつつ進め相乗効果を上げる。